

再評価結果（平成15年度継続箇所）

事業名 一般国道443号 <small>きのくら</small> 木倉バイパス		事業区分 一般国道	事業主体 熊本県
起終点 自： <small>かみましき みふねまちかみたかの</small> 上益城郡御船町上高野 至： <small>かみましき みふねまちきのくら</small> 上益城郡御船町木倉		延長 3.0km	
事業概要 国道443号は、福岡県大川市を起点とし、熊本県山鹿市、菊池市、熊本市を經由し、八代郡宮原町に至る延長約137km（県内管理延長約101km）の幹線道路である。当路線は、熊本県広域道路網マスタープランにおいて、交流促進型広域道路として位置付けられている重要な路線である。 木倉バイパスは、熊本県南部地域から空港へのアクセス道路として、また、緊急輸送道路として広域交流の促進を図り、さらに大型車のすれ違い通行を可能とすることにより地域の活性化に大きく寄与するものである。			
H5年度事業化	H1年度都市計画決定 (H1年度変更)	H5年度用地着手	H5年度工事着手
全体事業費 約 44億円		事業進捗率 64%	供用済延長 1.6km
計画交通量 14,900台/日			
費用便益比 B/C	総費用 50億円 (事業費：45億円 維持管理費：5億円)	総便益 173億円 (走行時間短縮便益：162億円 走行費用減少便益：6億円 交通事故減少便益：4億円)	基準年 平成15年
事業の効果等 (※1) I-(2) 物流の効率化の支援・・・最寄りの空港へのアクセスが改善（熊本空港） 現道を総重量25tの車両が通行できない II-(2) 地域・都市の基盤の形成・・・土地区画整理事業の計画がある（御船町土地区画整理事業） II-(3) 地域づくりの支援・・・現道に大型車のすれ違い困難区間が存在 IV-(1) 道路の防災・危機管理の充実・・・緊急輸送道路ネットワーク計画に位置付け（第一次）			
関係する地方公共団体等の意見 ： 特になし			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ：			
事業の進捗状況、残事業の内容等 ： 平成13年度までに約1.6kmの供用を図ってきたところであり、現在の進捗率は約64%（うち用地は約47%）である。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ： 引き続き、残り用地の早期買収に努め、工事の進捗を図り、平成10年代後半の全線完成供用を目指す。			
施設の構造や工法の変更等 ： コスト縮減に努め、新技術・新工法の積極的な活用を図る。			
対応方針 ： 事業継続			
事業概要図			